

事務事業名	新情報ネットワーク基盤整備事業		所属部局	総務部	単位番号	2014- 900122				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	管財契約課	課長名	樋川 純一				
			所属担当	情報システム担当	担当者名	山口 一樹				
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	計画	01 行財政改革の推進	事業区分	01	一般	02	01	09	030	22
施策	体系	02 行政改革の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
			<input checked="" type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
法令根拠			法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 )						
	情報システムの更改の時期が迫っている。各種システム更新など、全体を見渡し先を見越した基盤整備を行う事で、事業全体の経費削減を視野に入れ事業を行う。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
	技術の進化により、ネットワークだけでなくシステムやパソコンも統合出来るようになった。			委託料 19,430 備品購入費 46,742 計 66,172						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	個別に整備しているネットワークを統合するために、基盤整備を行う。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
26年度活動内容			ア	基盤系情報システム	事業
27年度活動予定			イ		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民、職員	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	市民	人
			イ	職員	人
			ウ		
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	情報ネットワークの認証基盤を整備する事で、IT資産の集約や効率的な運用が可能となり、職員の事務効率の向上を図る	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	ネットワーク数	事業
			イ		
			ウ		
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	システムの安定稼働と事業の効率化による市民サービスの向上を図る	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
			ア	改修後の障害発件数	件
			イ		

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			66,172			
	事業費計(A)	千円	0	0	66,172	0	0	0	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人			3			
		延べ業務時間	時間			200			
		人件費計(B)	千円	0	0	910	0	0	0
	(A)+(B)	千円	0	0	67,082	0	0	0	
活動指標	ア	事業			1.0				
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人			73,000.0				
	イ	人			850.0				
	ウ								
成果指標	ア	事業			5.0				
	イ				0.0				
	ウ								
上位成果指標	ア	件							
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	伝送路・ネットワークの更改の時期が来ている。技術の進化により、ネットワークのみならずシステムやパソコンも統合出来るようになった
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	情報機器の更改の費用等の削減が求められている。マイナンバー制度によって、セキュリティやネットワークの重要性は増している
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	個別に整備しているネットワークを統合するために、最新技術の取得を行った
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	事業の見直しや入札により大幅な経費削減が出来た。

事務事業名	新情報ネットワーク基盤整備事業	所属部	総務部	所属課	管財契約課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 老朽化したシステムを計画的に更新する事で、より経費節減を図れる
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 システム計画策定は市の責任において実施しなければならない 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 システムを安定的、効率良く運用するためには、システムの計画的な入替えを行う必要があり、妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 システム機器を効率良く導入するには、運営形態やシステムによる事務の効率化を図りながら実施する必要がある
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 情報系システム維持管理事業・業務系システム維持管理事業・ネットワークを利用している事業 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 統合化により情報系PCでほとんどの業務を行う事が出来る。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 システム毎に現状のように基盤を整備する事になり、整備するための費用が増大する <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 合併後、10年以上経過し、システムの更改の必要が出ています。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ネットワークを統合する事により、機器の購入費・保守費等を削減する事が出来る
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内部の業務であり、特定の人に偏った事業ではない

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の見直しや入札により大幅な経費削減を行う事が出来た。また、ネットワークの統合により大幅な維持管理費の削減が可能となった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					